

特別火曜会講演会 コンサートホールの設計

2026年 9月15日 火

11:30～ ランチ
12:00～13:30 講演会



講師

日高孝之氏

1979年 大阪大学大学院工学研究科修士課程応用物理学修了
1979-2020年 ㈱竹中工務店技術研究所所属、最終職位はリサーチフェロー。
劇場計画、建築音響設計、騒音防止実務を担当。現在 音響コンサルタントとして
企業の研究開発、ホール・劇場の音響設計に従事。主要プロジェクト：新国立劇場
東京オペラシティ、プラハ・コンgresセンター、20 件の劇場・ホールの音響設計

会場

神戸大学 東京六甲クラブ 有楽町電気ビル南館地下1階

会費

♪ クラブ参加 3,000円 /人 (ランチ代含む)
♪ ZOOM参加 1,000円 /人
申込は9/8(火) まで

クラブ
アクセス >>>



講演概要

音楽は空間から切り離して存在するものではありません。古来、多くの作曲家は演奏される空間を念頭に置いて作品を作りました。バッハは、当時としては前例のない響きをもつライプツヒのトーマス教会を意識して「マタイ受難曲」を作曲し、ワグナーは、自ら創作した「楽劇」を理想的な条件で上演するためにバイロイト歌劇場を建設しました。

音楽芸術の美は、演奏空間と不可分の関係にあります。人間の聴覚や脳の働きが本質的には大きく変わらない限り、音楽空間に求める価値もまた大きく変わることはないでしょう。その意味で、優れたコンサートホールを実現するための音響設計は、人間が音楽に求める普遍的な価値を形にする営みであると考えられます。

本講演では、実際のコンサートホールやオペラハウスのプロジェクトを例に、音楽・オペラなどの舞台芸術に求められる音響設計の考え方や、その設計プロセスについて紹介します。

皆さまのご参加をお待ちしております。
お申込みはこちら ▶



会場参加



ZOOM参加



主催 校友会東京支部（東京六甲クラブ）x 昭和52年卒幹事団

✉ tokyo@rokko-club.jp ☎ 03-3211-2916